

20-7

未来のニュース



活動

ニュースを聞いて、そのニュースの背景について推測する。

かたち



時間

せつめい編

- 文-79 Vようになります
- 文-80 みたいです / ようです
- 文-81 Vていきます / Vてきます
- 文-82 Vやすいです

談話の技術

- ・内容を構成する（報告）

準備する物

使うことば

ニュース、まず、初め、台風、～号*、近づく*、夏、東北地方*、進む、方向*、
 変える、ジェット機*、雲、パイロット*、キャスター*、変わる、がんばる、レーダー*、
 なかなか、イヤホン*、同じ、大きさ、機械、外国語*、翻訳〔する〕、もっと、前、
 それでは、ことば、増える、国際会議*、付ける、わかる、聞こえる、～間*、スイッチ*、
 入れる、えっ*、今度、中国語*、現在*、簡単、すぐ、悪い、便利、そして、最近、病気、
 部分*、手術*、外、治す*、特別、棒*、形、近づける*、研究、怖い、どんどん
 あと（時間） / お忙しいところ、ありがとうございました / がんばってください /
 ～だけでなく～も / すみません / ごめんなさい / 失礼しました

手 順

1. クラス全体で、ニュースのテープを聞く。
 何年の、どんなニュースかなど、ニュースのだいたいの内容を聞きとる。
2. もう一度テープを聞いて、それぞれの学習者が、その年までに何ができるようにするかを書く。何人かの学習者が発表して、答えを確認する。
3. <モデルテキスト> (1) ①～③の中から、好きなニュースを選んで、<モデルテキスト> (2) のように、いつ、何ができるようになるかと、それぞれについての自分の意見を書く。

モデルテキスト

(1) ニュース

① おはようございます。2050年9月10日の朝のニュースです。

まず、はじめに、台風たいふうのニュースです。台風20たいふうごうが日本にほんに近づいて
いますが、今年ことしの夏なつ、日本にほんの東北地方とうほくちほうでは雨あめが少すくなかつたので、台風たいふうが
進む方すすこうを東北地方とうほくちほうにかえることになりました。今いま、ジェットきでくも
を作つくって、台風たいふうの方ほうこうをかえています。パイロットの山田やまださんに聞きいて
みましょう。

キャスター：山田やまださん。

山田やまだ：はい。山田やまだです。

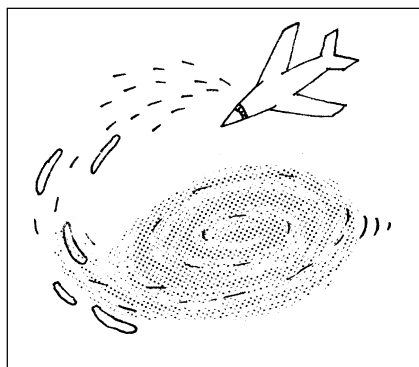
キャスター：どうですか。台風たいふうの進む方すすこうはかわりましたか？

山田やまだ：はい。今いま、がんばっていますが、この台風たいふうは30分ぶん前にレーダーで
見みたときより大おおきくなつたみたいで、なかなか方ほうこうが
かえられないんです。

キャスター：そうですか。あとどれくらい時間じかんがかかりそうですか。

山田やまだ：そうですね。30分ぶんくらいかかるとおもいます。

キャスター：わかりました。おいそがしいところ、ありがとうございました。
がんばってください。



② 2015年4月17日のニュースです。

イヤホンと同じ大きさのきかいを使って、外国語をほんやくすることができるようになりました。ほんやくのきかいは、前はもっと大きかったです。このきかいは、小さくなっただけでなく、ほんやくできることばもふえました。それでは、今、国さい会ぎでこのきかいを使っているリーさんと話してみましよう。わたしもきかいをつけてみます。

(機械を取り付ける)

キャスター：リーさん。

リー：はい。リーです。

キャスター：わたしの話していることがわかりますか。

リー：はい。よくわかります。わたしのはどうですか。

キャスター：はい。こちらでは日本語で聞こえます。よくわかります。

リー：そうですか。わたしは3年間日本語を勉強しました。でも、このきかいがあったら、外国語を勉強しなくてもいいですね。

キャスター：そうですね。

リー：あれ！...すみません。スイッチを入れていませんでした。わたしは日本語で話していました。ごめんなさい。

キャスター：えっ！日本語で話していたんですか。

リー：しつれいしました。(スイッチを入れる) 今度はどうですか。

キャスター：はい。日本語が聞こえます。リーさん、ほんとうに中国語で話していますか。

リー：はい。今度は中国語で話しています。どうですか。

キャスター：はい。日本語になっています。でも、リーさんはこのきかいを使わなくてもいいですね。

リー：ははは、そうですね。

キャスター：どうもありがとうございました。



③ 2032年6月6日のニュースです。

げんざいは、小さいきかいでかんたんに体の中を見ることができます。すぐにどこが悪いかわかって、とてもべんりです。そして、さい近、体の中の病気の部分を、手じゅつをしないで、外からなおすことができるようになりました。特別なきかいを使うそうです。げんざい、病院でそのきかいを使っているさとうさんに聞いてみましょう。

キャスター：さとうさん。おはようございます。

さとう：はい。さとうです。おはようございます。

キャスター：今度、手じゅつをしないで、外から病気をなおすきかいができたそうですね。

さとう：はい。これからは、かんたんに病気がなおせるようになります。

キャスター：それは大きいきかいですか。

さとう：いいえ、30cmぐらいのほそくて長いきかいです。これです。ぼうのかたちです。

キャスター：そうですね。とても小さいんですね。

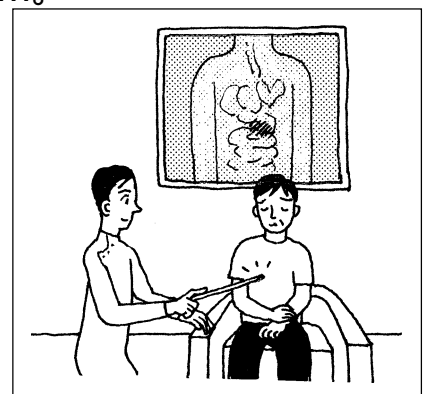
さとう：はい。このきかいを近づけるだけで病気がなおせます。とても使いやすいです。研究が進むと、これからもっと小さくなっていくと思いますよ。

キャスター：そうですね。病院に行くのがこわくなくなりますね。

さとう：そうですね。どんどん来てください。

キャスター：ううん。あまり行きたくないですが...

どうもありがとうございました。



(2) 報告文

- ① 2050年までに、ジェットきでくもを作^{つく}って、台風^{たいふう}が^{すす}進む方^{ほう}こうを、かえられるようになります。今は毎年^{いま まいとし}、台風^{たいふう}の雨^{あめ}や風^{かぜ}で、た^{ひと}くさんの人がこまっています^{あめ すく}が、雨^{あめ}が少^{すく}なくてこま^{おも}っている場所^{ばしょ}もあるので、そこに台風^{たいふう}が行^いったらいいと思^{おも}います。
- ② 2015年までに、イヤリングやピアスと同じ^{おな おお}大きさのきかい^{つか}を使って、外国語^{がいこくご}をほんやく^{べんきょう}することができるようになります。こんなきかい^{つか}があったら、外国語^{がいこくご}を勉強^{べんきょう}しなくてもいいのでべんりです。
- ③ 2032年には、手じゅつ^{しゅ}をしないで、病^{びょう}気を^きなおすことができるようになっています。30cm^{センチ}のほそくて長^{なが}いきかい^{つか}を使^{つか}います。わたしは病^{びょう}院^{いん}に行く^いのがきらいですが、こんなきかい^{つか}があったら、病^{びょう}院^{いん}はこわくないです。

バリエーション

- (1) テープレコーダーが2台以上あったら、
それぞれのニュースを別々のテープに
録音し、グループごとに違うニュース
を聞いて、報告する。

先生へ

- ・ ニュース①で、「台風」になじみのない地域の場合、テープを聞く前に学習者に以下のような説明をする。
「台風は、赤道に近い海の上でできる嵐のこと。日本には夏から秋に近づき、特に沖縄・九州地方によく来る。台風はいろいろな被害を与えるが、台風の雨は、米を作るために役立つ。」
- ・ 報告文は、<モデルテキスト> (2)の通りでなくても、学習者が、内容を理解していればよい。
- ・ 「Aさ / ANさ」は学習項目として扱っていないので、ここでは「大きさ」を語彙として扱う。